

## 競技団体へのアンケート調査

### ○函館市民体育館基本策定に伴う調査集約1（屋内スポーツ1）

団体名	函館地区体操連盟	函館圏ダンススポーツ連盟	函館卓球協会
競技団体加入人員及び競技人員	10団体加入 連総役員約40名 競技人口約200名	全道約350名 競技人員約80名	96団体 競技人員1,887名（登録数）
市内及び他自治体で開催されている大会の種類	高体連春季大会 高体連支部大会 函館市中体連大会 ジュニア演技会 道南ジュニア大会 高体連秋季大会 他全道大会が数年に1度 高体連全道大会 中体連全道大会 全道ジュニア大会	函館ダンススポーツ競技大会 青函交流ダンススポーツ大会 ※1年に1・2回	一般 10回 小学生 3回 中学生 6回 高校 4回 ※いずれも主催は協会の大会
現在練習及び活動を行っている体育館及び練習頻度	函館ラ・サール学園 週7回 レッツスポーツクラブ 週4～6回 ダンススポーツクラブ 週3～5回 北斗市総合体育館 週3～5回 函館遺愛女子 週4～6回 八雲町体育館 週1・2回 江差高校 週2・3回 南茅部 週3・4回 市民体育館 週1回	学校開放の体育館又はホール・教室 加盟している各サークルは月曜～金曜迄 週1回	函館市民体育館やサン・リフレ または慰霊堂で各団体が週2・3回練習 個人的には夜間の平日は毎日、市民体育館で練習
現在使用している体育館で不足・不便を感じている事又は良いと思う事	器具・着地マット等練習の道具の不足 ビット等練習施設の不足	函館市民体育館ではダンスシューズを履くことが許可されていない その為に練習他競技会を開催することが出来ず不便 ダンスシューズへ対する認識不足と思われる (ダンスシューズの底は、なめ皮となっており、女性のヒールにはヒールカバーが義務づけられている)	講習や研修会等で仲々市民体育館がとれない 3階体育室の使用ができればと思う 大会では都合の良い日程でうまく予約できない 大会として使用できる体育館の数が少ない
大会等で他の自治体の体育館を利用し、良かったと思う事	器具がそろっている 観客席が広い	札幌きたえる サン・リフレ函館 ※ダンスシューズ使用可	第2体育館があり、試合会場で試合の合間に練習が可能 凹んでいるステージが常設しており、その分のスペースが利用可能 大会の試合結果が見れる掲示スペースがある
全道及び全道大会規模の大会を開催する場合、何面コートが必要か（大会参加人員・大会日数等も記載）	(全道大会) 体操競技男子6種目、女子4種目同時設置 新体操フロアの設置ができること (全国大会) 上記器具の設置に加え、サブ会場として、もう1セットの器具設置が必要	回答なし	(全道大会) 全日本選手権 :3日間、30台、参加数1,200人 国体道予選 :2日間、27台、参加数1,000人 (全国大会) 北日本オープン漁火大会 :2日間、30台、参加数400人 ※(種目多い) 全日本大会では台数は30台程度で良いと思うが1台のスペースが広がるので大きさが必要
その他（意見要望）	交通アクセスが良く、函館での大会開催の要望はとても多い 全道大会開催にしても点在する器具を運搬しなければならない しかも、現在の規格にあった器具は少ない 最低限、床フロー式と着地マットが体育館にあると良い 更に、練習場所もあると地域の競技力向上につながってくるものと考えている 第1体育室などに体操競技の練習場所を確保していただきたい	現在、ダンスシューズの使用が禁止されているが、他都市では直接フローアで競技・練習が可能となっており、整備後の体育館では直接ダンスが踊れるよう許可していただきたい	希望としては第一体育館と第二体育館が一緒にあれば使う方は都合が良いと思う そうすれば、どんな規模の大会でも出来る と考える 駐車場の件については役員分10台は確保してほしい。大きな大会では移動出来ない 全道大会では役員一人当たり1,600～2,000円の駐車料金がかかっている

○函館市民体育館基本策定に伴う調査集約2（屋内スポーツ2）

団体名	函館地区相撲連盟	北海道銃剣道連盟函館支部	函館ソフトテニス連盟
競技団体加入人員及び競技人員	50名	団体加入人員約230名 競技人員約10名	団体加入人員54団体、1,130名 競技人員同上
市内及び他自治体で開催されている大会の種類	亀田八幡宮土俵での全道選手権大会	南部銃剣道大会 全道銃剣道選手権大会 少年銃剣道大会	函館連盟主催大会 25回 函館連盟主催インドア大会 6回 北海道連盟主催大会 34回 全国大会 32回 ※詳細は別添のとおり
現在使用している体育館で不足・不便を感じている事又は良いと思う事	回答なし	陸上自衛隊函館駐屯地体育館 4ヶ月/年	冬期間、市民体育館及び学校開放を利用 練習頻度は週に2～3回程度
現在使用している体育館で不足・不便を感じている事又は良いと思う事	回答なし	回答なし	テニスコートが2面しか取れず、全道・ 全国大会ができない 駐車場が少ない
大会等で他の自治体の体育館を利用し、良かったと思う事	回答なし	回答なし	郊外に大規模な施設を建設し、全てにおいて余裕がある
全道及び全国大会規模の大会を開催する場合、何面コートが必要か（大会参加人員・大会日数等も記載）	回答なし	（全道大会） 6コート、約800人、2日間 （全国大会） 9コート、約1,200人、1～2日	（全道大会） 6面、現在2面しか取れず大会が出来ない （全国大会） 同上
その他（意見要望）	回答なし	観客席が充実していること	体育館を貸し切って大会運営して、大会が終了したら、すぐ体育館の利用をやめなければならない

○函館市民体育館基本策定に伴う調査集約3（屋内スポーツ3）

団体名	函館剣道連盟	函館柔道連盟	函館地区空手道連盟
競技団体加入人員及び競技人員	195名	加盟団体数58団体 会員数798名	一般団体：20団体、700名 大学団体：2団体、20名 高等学校：11団体、100名 （計：33団体、820名）
市内及び他自治体で開催されている大会の種類	南北海道少年剣道大会兼澤田功旗争奪小学生剣道大会（市内）	南北海道少年柔道大会兼北整全道大会 函館ブロック予選 南北海道段別柔道選手権大会 南北海道女子柔道選手権大会 南北海道高段者大会 南北海道高等学校柔道大会 道南中学校柔道大会 青函対抗柔道大会	国民体育大会空手道競技函館地区予選大会兼函館地区空手道連盟会長杯 全日本空手道選手権大会道南地区予選兼少年少女空手道大会 北海道高等学校空手道選手権大会函館支部予選大会 北海道高等学校空手道新人戦函館支部予選大会 青少年空手道競技大会 少年武道大会 和道会函館支部空手道交流大会 渡島館内空手道スポーツ少年団交流大会（管内当番制）
現在練習及び活動を行っている体育館及び練習頻度	市民体育館第3体育室 毎週日曜日	市民体育館 中学・高校の体育館	一般団体：市児童館、市民体育館、福祉センター、学校開放、自己道場 高等学校：各学校体育館、武道場 大学：学校体育館、武道場
現在使用している体育館で不足・不便を感じている事又は良いと思う事	第3体育室の広さが狭いと感じるため、10m×10mの試合場が2会場とれる位の広さが欲しい	学校の体育館の場合は畳がない場合は搬入しなければならない 又、学校行事との兼ね合いで思いどおりの日程が組めない	全道大会、全国大会を計画しても過密状態で容易に借用出来ない 現在の車社会情勢からみて現駐車場は狭い 予約手続き及び利用の際の管理が行き届いている 又、担当者の対応も良い
大会等での自治体の体育館を利用し、良かったと思う事	上記の通り、剣道場が広いこと	規模が大きい	借用手続き及び利用の際に担当者の対応が、やさしく利便性が良い 駐車場が広く、駐車の際に容易に駐車できて良い 早朝の開館及び終了時の退館時刻についても緩和されている
全道及び全国大会規模の大会を開催する場合、何面コートが必要か（大会参加人員・大会日数等も記載）	（全道大会） 10m×10mの試合場 8会場必要。（最低6面必要） 平成24年高体連全道大会（剣道）予定有り （全国大会） 特になし	全道・全国とも10試合場 400～500名、1～3日	（全道大会） 15m正方形（指定マット有り） 5面、参加人員400名 （全国大会） 15m正方形（指定マット有り） 7～8面、参加人員800名 ※日程については、当番制との関係から当分は開催予定はない（但し希望開催別）
その他（意見要望）	武道場としての専用施設の剣道場の設置を希望 試合場2面（1面11m×11m）がとれる練習場を期待 駐車場の混雑が予想されることから、地下も活用し、出入口を数カ所設け利用しやすい駐車場の整備を期待	青函対抗の大会は全道大会と同様に優先的に使用を認めてほしい	次年度の利用のため、前年度に申請書を提出し、使用料を前納するが事業等の都合で中止した時は、前納した使用料の全額若しくは半額でも返還いただければという規則の改訂の検討をお願いしたい また、延期して同体育館を利用する場合も一度返還し、新たな使用料に従って納入するようなシステムにしてほしい ※過去に全道大会等は3回程度開催しているが、全国大会は開催していない

○函館市民体育館基本策定に伴う調査集約4（屋内スポーツ4）

団体名	函館バウンドテニス協会	函館バレーボール協会	函館地区バドミントン協会
競技団体加入人員及び競技人員	協会員38名	加盟団体85団体 会員数1,375名	加盟団体142団体 会員数1,950名
市内及び他自治体で開催されている大会の種類	函館バウンドテニス協会会長杯親善交流大会（函館市） 函館バウンドテニス協会顧問杯親善交流大会（函館市） 南北海道バウンドテニス親善交流大会兼 函館市青森県親善交流大会（函館市） 北海道バウンドテニス選手権大会（札幌市） 北海道ブロックバウンドテニス選手権大会（札幌市） 北海道ブロックバウンド親善交流大会（道内6協会持ちまわり） 全日本バウンドテニス選手権大会（東京都）	小学校各種大会 5件 中学校各種大会 3件 高校各種大会 4件 一般各種大会 3件 オープン大会 1件 各種全道大会等 随時 家庭婦人各種大会 3件	小学校、中学校、高校各種大会 11件 一般各種大会 5件 女子各種大会 5件 各種全道大会等 随時
現在練習及び活動を行っている体育館及び練習頻度	市民体育館（ニュースポーツ）月3回 函館市勤労者総合福祉センター（サン・リフレ）月4～5回 学校開放事業（振神小学校）週1回（月曜日）	各団体が個別に対応	各団体が個別に対応
現在使用している体育館で不足・不便を感じている事又は良いと思う事	協会員が少なく会費だけで使用料を支払うには、市民体育館を使用する料金が高すぎると思う 学校開放で振神小学校を借りておりますが、バウンドテニスは室内競技で人工芝コートを使用 振神小の好意でコートを置かせていただいている コートは大変重いのので毎回運び入れるのは大変 開放説明書の欄外に書いてある毎回使用団体が持参する物は削除できないか 生涯スポーツとして発展しているバウンドテニスですが、練習会場を確保するのに困難 新規の会員を増やせない現状	回答なし	全道・全国大会の試合を除く、地区独自の大会で体育館の予約が難しい 特に土日が予約できない 入口が狭い ロビーが狭い 駐車場が有料 共催で開催される大会などは使用料を無料にもらえる
大会等で他の自治体の体育館を利用し、良かったと思う事	青森県弘前市武道館 ：広く正方形に近い形であった 天井から土俵が下がるつくりであった 道立体育館（きたえーる） ：スタンドが広い サブアリーナも大変広い 札幌市清田区体育館 ：フルも設置しており、体力づくりの機械が 沢山あって沢山の人が利用しているようだ 札幌市東区体育館・札幌市厚別区体育館 ：体力づくりの機械が沢山あり、多くの人が利用していた 東京都体育館 ：交通の便が大変良い場所にある 広い	駐車場が無料 大型バスが駐車可能 コートが3面とれるアリーナ	駐車場が無料 大型バスが駐車可能
全道及び全国大会規模の大会を開催する場合、何面コートが必要か（大会参加人員・大会日数等も記載）	（全道大会） 80名、1日日程、8コート必要 1コート広さ3m×10m （全国大会） 1,100名、2日間日程、24コート必要	（全道大会） 例 全日本バレーボール高等学校選手権大会 北海道代表決定戦 男子42チーム、女子56チーム参加 コート数：男女合わせて2会場6面で開催 大会日程：4日間	（全道大会） 参加選手：400名、大会役員：60名 コート数：1会場8面で開催 大会日程：3日間 （全国大会） センターコート2面、入場者数：1,600名
その他（意見要望）	新しい体育館に、バウンドテニスコート5面程度備えていただくと、市民対象の講習会や研修会がいつでも開催できるのですが、普及に努めたい バウンドテニスボールは小さく硬くて、打球が早いので、照明は現在より明るくしてほしい 大会を開催する際、駐車する大会関係者の台数を制限しても何台か無料に出来ないものか 道立体育館（きたえーる）では無料の駐車許可証を発行している	市民体育館は、これまで全国大会・全道大会のほかVリーグなどを開催しており、その存在は非常に大きいものがある 施設規模としては、メインアリーナ3面、サブアリーナ2面の5面あれば、全国大会・全道大会には十分である 観客席は、Vリーグの試合開催を考えた場合、固定席2,000席、可動席1,000席があれば十分である。 要望事項として、選手控室（30名）4室、役員控室（20名）2室、プレスルーム1室を確保してほしい	全道大会や全国大会の開催にあたって市内高校や大学の体育館を借り、併用して大会を実施している状態が、早く改善されることを望む アリーナでの面数を、12～16面確保してほしい 大きな大会の開催に見合う更衣室を整備してほしい 観客席は、競技が見やすく、また座席数も余裕を持ってほしい

○函館市民体育館基本策定に伴う調査集約5（屋内スポーツ5）

団体名	函館地区バスケットボール協会	バスケットボール（高等学校）	
競技団体加入人員及び競技人員	加盟団体151団体 会員数2,370名	460名 39校	
市内及び他自治体で開催されている大会の種類	ミニバス各種大会（小学生） 5件 ジュニア各種大会（中学生） 6件 高等学校各種大会 5件 一般各種各種大会 3件 各種全道大会等 随時（年1～2大会）	春季大会 インターハイ 選抜予選 冬季大会 新人大会	
現在練習及び活動を行っている体育館及び練習頻度	ミニバス：小学校 中・高・大等：各校体育館 ※一般クラブチームは体育館開放を利用しているが、練習体育館の確保に苦慮している	各校体育館 ほぼ毎日	
現在使用している体育館で不足・不便を感じている事又は良いと思う事	小（ミニ）・中・高の各種大会は各学校の体育館を使用 一般（クラブチーム）の大会は、会場の確保が困難な状況である 市民体育館はほとんど使用できない	使用時間が短い 施設の広さ（狭い）	
他の自治体の体育館を利用し、良かったと思う事	駐車場が無料 大型バスが駐車可能 （函館市も実現を希望） バスケットコート3面+サブアリーナ（アップ会場）が十分である ロビー等が広い	駐車場が無料 大型バスが駐車可能 一施設あたりのコート数が多い	
全道及び全国大会規模の大会を開催する場合、何面コートが必要か（大会参加人員・大会日数等も記載）	（全道大会） 例 第62回北海道道民バスケットボール大会 男子A・男子Cは札幌市・江別市で開催 男子B・女子は深川市・妹背牛町で開催 男子Aクラス22チーム 1日1会場2面 Bクラス16チーム 1日1会場2面 または2会場4面 Cクラス33チーム 1日2会場4面 女子25チーム 1日1会場2面 または2会場4面 大会日程：3日間 （全国大会） 例 全国中学校バスケットボール大会 参加人員：（30名×24チーム×男女） 1,500名 大会日程：3日間 使用コート数：1日目8面、2日目4面 3日目2面	（全道大会） 約800名、55校参加 日程：3日間 コート：8面	
その他（意見要望）	観客席は、アリーナ全面が見渡せるとともに、可動席も整備して欲しい 体育館の器具庫は、使い易く十分な収納スペースを確保されるよう整備して欲しい 協会事務局スペース（机1、イス2、ロッカー1、共用品としてコピー機などを備えた）がほしい バスケットコート3面+サブアリーナが必要 駐車スペースの確保、特に大型バス		

○函館市民体育館基本策定に伴う調査集約6（屋外スポーツ1）

団体名	函館ライフル射撃協会	函館スキー連盟	函館市アイスホッケー協会
競技団体加入人員及び競技人員	加入人数22名 競技人員約30名		(加盟団体) 成人8チーム、150名 小学生1チーム、20名 大学生1チーム、15名 (非加盟団体) 1チーム、15名 競技人員200名
市内及び他自治体で開催されている大会の種類	回答なし	道南選手権大会（回転） 道南選手権大会（大回転） 函館スキー連盟杯争奪（大回転） ※いずれも主催大会	リーグ戦（市内） トーナメント戦（市内） 青函対抗戦（青森、函館）
冬期間に練習及び活動を行っている体育館及び練習頻度	札幌宮の沢室内競技場 各人任意の為、頻度はわからず	回答なし	スケート場オープン1月中旬 1月中旬 ：練習の為、日曜日以外毎日使用 1月中旬～2月中旬 ：リーグ戦の為、日曜日以外毎日使用 2月中旬～2月下旬 ：トーナメント戦の為、日曜日以外毎日使用 少年団チーム ：週3回でスケート場クローズまで毎日使用
冬期間使用している体育館で不足・不便を感じている事又は良いと思う事	道南地区に該当施設がなく、冬はほとんどが活動休止状態	回答なし	リンクの専用使用については財団にご協力をいただき、ありがたいと思っているアウトリンクの為、天候により試合日程が変更となる場合があり、苦慮しております 製氷について、各団体使用後にしていただければ、次の使用団体が気持ちよく使用できる 試合前は特にお願したい
その他（意見要望）	回答なし	回答なし	スケート場については、競輪場の中であることから、今後競輪場の存続も含め、いつ廃止されるか非常に不安 是非とも、専用の屋内リンクの建設をしていただきたい（夏期は別使用のハイブリットタイプ） 屋内リンクができると、スケート利用人口の増加や、大学・社会人チームの合宿なども誘致できる可能性もあるので、経済効果も期待できると思う

○函館市民体育館基本策定に伴う調査集約7（屋外スポーツ2）

団体名	函館市ラグビーフットボール協会	函館市弓道連盟	函館サッカー協会
競技団体加入人員及び競技人員	約500名	約300名 (9月26日段位審査受審者175名)	21年度164団体、4,035名
市内大会及び他大会	(高校)計6大会 春季ラグビー交流試合 団体予選 高校生春季 1年生大会 高体連支部予選 新人戦 (中学・スクール)計3大会 全国中学校 全道中学校 東日本スクール (大学)計1大会 インカレ道予選 (社会人)計3大会 北海道クラブリーグ 北海道チャレンジリーグ 会長杯	1. 連合審査、地方審査(対象全国) 2. 伝達講習会(地域、教職員は全道) 3. 対抗戦(青函、東北北海道、五市市役所対抗) 4. 南北北海道高校対抗戦(中学、大学含む) 5. 月例会、冠大会(道新、函新、護国神社等)	・全日本フットサル選手権函館地区予選 ・全道フットサル選手権函館地区予選 ※いずれも社会人
冬期間に練習及び活動を行っている体育館及び練習頻度	社会人：あさい小学校、週3回程度	千代台公園弓道場にて毎日 (水曜日定休)	主に社会人であるが、活動は把握してほしい
冬期間使用している体育館で不足・不便を感じている事又は良いと思う事	屋外種目が屋内に入ってくるので、使える施設を増やして欲しい	暖房、除雪 (降雪、厳寒地域は屋内弓道場が多い)	新体育館はフットサルのできる内壁にしてください
その他(意見要望)	人工芝の屋内施設があると、活用しやすいと思う	全道大会が開催できる規模の弓道場の建設を希望 (近的10人立、遠的場)	回答なし

○函館市民体育館基本策定に伴う調査集約8（屋外スポーツ3）

団体名	函館市スポーツ少年団	函館軟式野球連盟 (北海道軟式野球連盟函館支部)	函館水泳協会
競技団体加入人員及び競技人員	指導者（役員含む）367名 団員1,543名	加盟団体数150団体 競技人員3,000名 連盟部員120名	会員134名
市内大会及び他大会	函館市内大会 20回 他自治体大会 10回 ※詳細は別添のとおり	1. 高円宮賜杯全日本学童少年野球 2. 全日本少年（中学）野球 3. 北海道中学野球 4. 高松宮賜杯全日本軟式野球 5. 日本マスターズ軟式野球 6. 天皇賜杯全日本軟式野球 7. マルハンドリームカップ全国草野球 8. 青函対抗軟式野球 9. 青函あさ野球選抜 10. 連盟会長杯 11. 連盟理事長杯 12. 東日本軟式野球 13. 道南カップ兼知事杯道南ブロック軟式野球 14. 学童オールスター選抜 15. 函館市長杯ナイター記念 16. あさ野球 17. たそがれ野球	(市内) ・中体連・高体連支部大会 ・学童記録会 ・道南選手権 ・地区ジュニア大会 ・道南マスターズ大会 ・市民水泳記録会 ・他 (他自治体) ・多数
冬期間に練習及び活動を行っている体育館及び練習頻度	スポーツ少年団体カテスト スポーツ少年団体柔道交流大会 臥牛柔道JSC練習	冬期間に体力づくりのため「市民体育館」・「学校開放の体育館」を利用 加盟団体会員が利用（およそ150名が週1回）	回答なし
冬期間使用している体育館で不足・不便を感じている事又は良いと思う事	回答なし	特に不便なところはない 学校開放事業は市民として気軽に利用でき、体力づくりや仲間づくりに適している	回答なし
その他（意見要望）	結団式、体力テストで毎年体育館を使用していますが、なかなか日曜日に開催する事が出来ない	学校開放 ：学校によっては駐車場の確保が難しい 市民体育館 ：市民会館と市民体育館が併設されていることは便利であるが、駐車場が少ないと思う (市民会館でイベントが開催されると駐車場が満車となる)	回答なし



○函館市民体育館基本策定に伴う調査集約9（屋外スポーツ4）

団体名	函館クレー射撃協会	函館市ゲートボール協会	函館グラウンド・ゴルフ協会
競技団体加入人員及び競技人員	会員98名	85名	57名
市内大会及び他大会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クレー射撃公認大会13大会（内函館会場2大会）</li> <li>・ライフル射撃公認大会10大会（内函館会場1大会）</li> <li>・猟友会大会2大会（函館）</li> <li>・協会大会7大会（函館）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当協会主催の大会8</li> <li>・函老連主催の大会2</li> <li>・勤医協主催の大会1</li> <li>・青森市との交流による大会1（市体協主催）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青函交歓交流大会</li> <li>・夏季交歓交流大会（兼会長杯）</li> <li>・秋季交歓交流大会</li> <li>・南部忠平杯交流大会</li> </ul>
冬期間に練習及び活動を行っている体育館及び練習頻度	回答なし	回答なし	競馬場屋内広場
冬期間使用している体育館で不足・不便を感じている事又は良いと思う事	回答なし	回答なし	冬期間使用できる場がない
その他（意見要望）	回答なし	回答なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外でも練習可能な場がない</li> <li>・屋内で練習可能な施設がほしい</li> </ul> 切実な願い

○函館市民体育館基本策定に伴う調査集約10（屋外スポーツ5）

団体名	道南陸上競技協会	南北海道外洋帆走協会	函館テニス協会
競技団体加入人員及び競技人員	約200名（役員、審判員） 約1,300名（選手）	150名中約135名	130名
市内大会及び他大会	回答なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヨットレース年5回（函館港）</li> <li>青函カップヨットレース（函館⇄青森）毎年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般男女、BC級、ベテラン、ミックス、団体戦の各ダブルス大会（11回）</li> <li>一般男女シングルス大会（2回）</li> <li>青函対抗戦（1回）</li> </ul>
冬期間に練習及び活動を行っている体育館及び練習頻度	室内陸上ができる環境が理想	回答なし	室内選手権大会（北斗市体育館）
冬期間使用している体育館で不足・不便を感じている事又は良いと思う事	回答なし	回答なし	大会が出来ない
その他（意見要望）	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育館内にランニングコースを設けてほしい（一般の体育館には設けられている）</li> <li>トレーニング器具室の設置（特に合宿席等の中に要望が大である）</li> </ul>	停泊地の拡張	回答なし

○函館市民体育館基本策定に伴う調査集約 1 1 (屋外スポーツ6)

団体名	函館地区山岳連盟	函館スケート協会	函館地区自転車競技連盟
競技団体加入人員及び競技人員	加盟会員95名	競技団体加入人員30名	30名(うち競技人員25名)
市内大会及び他大会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国体道予選会(山岳)</li> <li>・登山交流会等</li> </ul>	フィギアスケートバジジテスト	自転車競技大会(トラック・ロード・MTB・シンクロクロス)
冬期間に練習及び活動を行っている体育館及び練習頻度	回答なし	冬期間体育館での練習は行っていない	函館競輪場競輪選手訓練室または個人所有訓練室
冬期間使用している体育館で不足・不便を感じている事又は良いと思う事	回答なし	回答なし	不便:競輪場では間借り状態で、個人所有訓練室は狭い 良い:専用の器具がある
その他(意見要望)	回答なし	回答なし	回答なし

○函館市民体育館基本策定に伴う調査集約12（屋外スポーツ7）

団体名	函館アーチェリー協会		
競技団体加入人員及び競技人員	<p>団体加入人員 ：86名（うち協会員47名、函館ラ・サール10名、函館工業高等専門学校29人）</p> <p>競技人員 ：57名（うち協会員18名、函館ラ・サール高校10名、函館工業高等専門学校29人）</p>		
市内大会及び他大会	<p>・函館アーチェリー協会主催大会 （平成22年度分） 冬期間（10月～3月） インドア記録会・例会・選手権大会の計8回</p> <p>・他自治体主催大会 （平成22年度分）（11月～3月） 苫小牧市～第8回全道会長杯室内大会 ほか計2回</p> <p>旭川市～旭川室内公認大会 札幌市～札幌会長杯室内大会 帯広市～第21回船津杯全道室内大会 石狩市～第19回北海道室内選手権大会 以上の計6回</p>		
冬期間に練習及び活動を行っている体育館及び練習頻度	<p>現在当協会では協会員所有のインドア練習場で冬期間練習している現状である （毎週、火、金、土、日曜日の4日間練習） ただ、所有者の体調があまり良くないため、数年以内には練習できなくなるものと思われ、今後は市立体育館で練習せざるを得ないと考えている</p>		
冬期間使用している体育館で不足・不便を感じている事又は良いと思う事	<p>以前は市立体育館の2階ランニングコースの一部を利用して練習していた経緯があり、今後練習できるスペース（通路等での理由）を確保していただきたい 当時若者が通路でダンスの練習をしており危険で練習できなかった ※他都市でも2階の通路部分を利用して練習場多い</p>		
その他（意見要望）	<p>以前利用していたのは2階のランニングコースで18mの距離で5人程度並んで射っていた状態 通路幅5mぐらいあれば良いと思いますが、できれば30mの距離まで確保できれば最高です 通路に沿って防矢ネット（アーチェリー専用）の設置が必要となる（高さ4m程度でカーテン状に開閉式） 北海道ではアウトドア、インドア大会については、道南、道央、道北、道東の4ブロックに分けて分担して、各大会を開催している 夏期間は道南ブロックとして函館市や室蘭市、苫小牧市で開催しており、北海道アーチェリー連盟からは、これらの都市でも冬期間インドア大会を開催してもらいたい旨、再三要望されているが、函館市の場合、大会開催に必要な用三脚や防矢ネットがないため開催を辞退している状態であり、苫小牧市にお願いして開催してもらっているところである インドア大会では的三脚が20～30脚、防矢ネットが高さ4m程度で延長50m程度必要で、さらに的をはずした際のため、後方にタタミを立てかける等の必要があり、設置には費用と労力を要する</p>		